



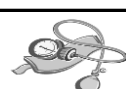




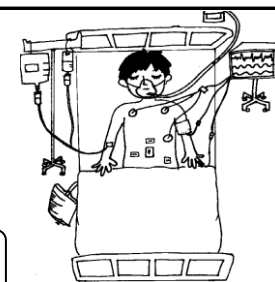


患者ID	
患者氏名	様
病名	

入院診療計画書

主治医	印
主治医以外の担当医	
担当看護師	

パス名 大腸手術

経過	手術2日前	手術前日	入院日・手術当日 (/)		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目以降
日時	/	/	手術前	手術後	/	/	/	/
治療薬剤 (点滴・内服)	・いつも飲んでいる薬を看護師にお知らせください 夜8時にラキソベロン液1本飲みます	・点滴を行います。朝6時から2~4時間かけてニフレックを内服します。夕食後からOS-1を飲みます	・指示された時間までOS-1を飲みます	・点滴を行います ・痛みが強い場合は痛み止めを使用します	・点滴を行います			・手術後8~10日目頃に退院予定です 
処置		・おへそをきれいにします(看護師がお手伝いします)						・手術後7日目を目安に抜糸、抜鉤を行います
検査			・体温、血圧、脈拍測定を行います		・採血、レントゲンがあります		・採血、レントゲンがあります	・5日目に採血、レントゲンがあります
食事	・指示された食事をお取りください	・朝から食事はできませんが夜9時まで飲水できます	・食事、水分共に摂取できませんがうがいは問題ありません	・食事、水分共に摂取できません	・医師の診察で飲水できるか決まります			・手術後4日目以降を目安に食事ができます(流動食からはじまります)
清潔	・シャワー浴できます	・おへそをきれいにした後、シャワーを浴びていただきます			・蒸しタオルで体を拭きます ・歯磨きは続けます		・シャワー浴できます	
排泄	・制限ありません		・手術前に排泄をすませます	・尿の管が入ります	・尿量測定します。便の回数、性状、排ガスの有無をうかがいます			
安静度	・制限はありませんが院外への外出は医師の許可が必要です		・排泄以外は病室内で過ごしてください	・ベッドで安静に過ごす必要があります。寝返りは問題ありません	・医師の診察後、看護師の付き添いのもと歩行します ・歩行して問題がなければ、ストッキングを脱ぎます	・制限はありません		
教育・指導 (栄養・服薬管理)	・薬剤師から内服の指導があります							
患者及びご家族への説明	・看護師より手術の説明があります	・麻酔科外来がお済みでない場合は麻酔科医から説明があります ・手術室看護師から手術室での様子の説明があります	・着物に着替え、ストッキングを履きます。ご家族は手術予定時間の1時間前までに来院してください。貴重品はご家族にお預けください	・大切な管が入っているので、抜けないように気をつけてください ・手術後お部屋を移動することがあります				 術後の状態

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです

注2 入院期間については、現時点で予想されるものです

●栄養に関する計画(特別な栄養管理の必要性:有)

(本人・家族)

★準備していただく物品について★

- ・バスタオル 1枚
 - ・着物式ねまき 1枚
- ↑レンタルもあります。
必要な方はご相談ください。

必要に応じて、追加の物品の準備をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

- | | | |
|---------------------|---|----|
| ・テープ式おむつ | 枚 | ・袋 |
| ・リハビリパンツ | 枚 | ・袋 |
| ・尿取りパッド | 枚 | ・袋 |
| ・クロスガーゼ | | 枚 |
| ・ビニール袋 (30×45cmくらい) | | 枚 |
| ・ゴミ袋 | | 枚 |



担当看護師と相談の上、
準備をお願いします。

手術後の合併症の予防のために

★手術後から早く歩かなければいけないのはなぜですか？

腸閉塞、肺炎、下肢静脈血栓などの術後合併症予防につながるからです。

また、全身の血流が良くなることで、創の治りも早くなります。

★手術用のストッキングをはくのはなぜですか？

手術中～後は寝たままで安静を保つため、下肢の血流が悪くなり血栓を作りやすくなります。その血栓が、頭や肺に流れると、脳梗塞や肺梗塞などの重篤な合併症をひきおこします。

ストッキングをはくことにより、血管が適度に圧迫されて血流が良くなるため、血栓予防につながります。

